



共産提出の2決議 全会一致で採択

子どもの新たな 医療費助成制度

●県議会最終日、日本共産党は4本の意見書議案を提出。2本が

全会一致で採択され、国に要請されました。

一つは、政府が「結婚や子育てしやすい環境となるよう、少子化対策の充実を図る」と少子化対策大綱で示しているにもかかわらず、子どもの医療費助成制度を導入している自治体に対して行っている、国庫負担金減額のペナルティをやめ、国として新たな子どもの医療費助成

制度を作ることを求める議案です。

●通院で中学校卒業まで医療費助成をしているのは930自治体、それ以上に手厚く実施は204自治体と、今や、国が行わないので、全自治体の65%が独自に、子どもの医療費助成を実施しています。

地域の実情に応じた 医療提供体制

●もう一つは、政府が2025年の高

知県の病床数を今より5000床削減する11000床と推計し示した事に対するもの。県の実情を顧みずに一方的に減らすことは地域の医療提供体制を後退させてしまうものです。高知県が調査し作成する「地域医療構想」は、地域地域の実情に応じた現実的なものにするを政府に求めるものです。



**キラリン
にゃんでも通信**

抜群で満足。
スナシの効果
間なしストリ
りましたが手
と費用は掛か
十分程！ちよ
は二〇分。畳む時は僅か

●秋晴れの下、区民運動会が開かれました。今年、私の町内会は、思い切っ
て三〇年使用してきた重
く古いテントを新調。
一時間かかっていた設営
は二〇分。畳む時は僅か
十分程！ちよ
と費用は掛か
りました。手
間なしストリ
スナシの効果
抜群で満足。




●この一年にお亡くなりになった共産党員のみなさんのお名前を顕彰碑に刻み、生前のご奮闘を讃える追悼式が北山の日本共産党顕彰公園で行われました。雲一つない秋空。参列者とともに、ご冥福をお祈りいたしました。